

# 先月のめだかくらぶ

7月4日のめだかくらぶのお楽しみプログラム「七夕を楽しもう」に5組の親子が来園されました。七夕の笹飾りを作り、短冊に願い事を書いて、笹につけてお持ち帰り。数日後の七夕まで願い事が叶うように飾ってもらえたでしょうか？プログラムの最後には誕生日会も行いました。

# めだかくらぶ



## 夏の手作りおもちゃ紹介

### ペットボトルシャワー

水あそびに大活躍

用意するもの・ペットボトル ひも ビニールテープ  
キリまたは目打ち

1. ペットボトルを半分に切る (切り口はビニールテープで覆い、危なくないように！)
2. 穴をあけて持ち手をつける
3. 水が出る穴をいくつかあける
4. できあがり！  
穴をあける場所や数で水の出方がかわります。



### センサリーバッグ

ぶにゅぶにゅ…小さい子は触るだけで楽しい！

用意するもの・フリーザーバッグ 保冷ジェルまたは洗濯のり  
中に入れるアイテム (ビーズやボタンなど)  
ビニールテープかガムテープ



1. フリーザーバッグ保冷ジェルまたは洗濯のりを入れる  
アイテムを入れ空気を抜く
2. もう1枚のバッグに入れ二重にする
3. 周囲をテープで補強する
4. できあがり



### センサリーボトル

スノードームのペットボトル版  
中に入れるものを工夫するとさらに楽しさがひろがります！

用意するものはセンサリーバッグの材料  
+ぬるま湯 接着剤

1. ペットボトルにジェルまたは洗濯のりを5分目位入れる
2. アイテムを入れる
3. ぬるま水を満水になるよう入れる (アイテムが固まっていたら、箸などで混ぜる)
4. キャップを接着剤できっちり止める
5. テープでキャップを補強する
6. できあがり

\*濃度を変えると動きが早くなったり、ゆっくりになったりします。



保育園では布団圧縮袋を二重にして水を入れてウォーターマットにして遊んでいます。

## 「めだかくらぶ」開催中

豊玉保育園では**月曜日**から**金曜日**の**平日毎日**、地域の親子の方々が**庭や保育室などで遊べる「めだかくらぶ」**を行っています。時間は10時から11時30分までです。事前の申し込みはいりません。気軽に遊びにきてください！

月に1回のお楽しみプログラムもあります。

8月は・・・

8月22日(木)

「水と仲良し！しゃぼん玉あそび」

8月生まれの誕生会

\*お楽しみプログラムも

予約はいりません。

## ちょこっとコラム

### 親の姿を見て学ぶ

世の中、人と人との関わりなくしては生きていけません。コミュニケーションに関して、児童精神科医だった佐々木正美さんが書かれている図書より抜粋してご紹介します。

『現代社会では人づきあいがわずらわしいと感じる人も多く、一人でいることを選ぶ人も増えていきます。しかし、日々の暮らしのなかで、**親が夫婦同士で、または親戚や地域の人たちと、にこやかに親しくコミュニケーションをとる姿を、日々子どもに見せながら生活することは、今の日本の社会では非常に重要で価値ある生き方だと思えます。**親たちがさまざまな話題を交換し、その事柄のなかに潜んでいる嬉しいことや悲しいことを互いに伝えあっている様子を、子どもが自然に観察するのは、とても意味深いことです。そして**そのような機会を少しでも多く与えてやるのが、子どもにとっては重要なことです。**なぜなら、両親が語りあっているか、近隣とどのようなことを、どのような感情を交えて話しているか、そうしたことを、子どもは話し言葉の内容ばかりでなく、**表情や感情、身振りなどから、感受性豊かに学びとっている**からです。

**子どもは、親がほかの大人と話している姿を見て、コミュニケーションの方法を学びます。**友だちや先生とコミュニケーションをとる力を身につけるためには、**親というお手本が必要**なのです。そして親は、話している姿を子どもに見せることも大切ですが、**さらに大切なのは、子どもの話をよく聞いてやること**です。子どもを育てるとき、「親の言うことをよく聞く」という子どももなくなってほしい、またそうしつけないければ、**という思いは、多くの母親が共通して抱いている感情**です。しかし、それ以上に意義深いのは、「**親が子どもの話を聞く**」ことなのです。(中略) **楽しいことはもちろん、微笑みながら聞いてあげてください。**悲しい話題であっても、話の腰をお断りすることなく、**じっくり耳を傾け、一緒に悲しむ、そんな気持ちのゆとりをもって、子どもを育てることこそ、母親ができる意味深いことなのです。**』

「はじまりは愛着から」佐々木正美・著 福音館書店

まだおしゃべりができない子ども、親や周りの人の行動や表情から色々なことを学びとっていると思うと、わからないからと思ってしまうかもしれません。ぜひ良いお手本になりたいですね。



文責 端 晶子